

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。  
そのなかで、当所経営指導員が会った「キラッ」と光る事業所の取り組みを  
ご紹介させていただきます!



## 品質に正直に 事業を通じた社会貢献 あらゆる産業の基礎資材として、 特殊鋼製品の果たすべき役割

播磨高周波工業株式会社 代表取締役 池田 嘉樹 氏



高周波焼入

### 金属に命を吹き込む

金属材料を適切な温度に加熱し冷却することで、その機械的性質を変化させる「金属熱処理」という技術がある。材料の強度を上げるために硬くする、或いは靱性や被削性を上げるために軟らかくするなど、材料や使用目的に合った材料特性を引き出すための加工技術である。高周波誘導加熱（IH）を利用した「高周波焼入れ」、雰囲気ガスによる「ガス浸炭焼入れ」や「ガス軟窒化」、真空加熱炉を使った「真空熱処理」など、その種類は多岐にわたる。

による環境負荷を低減するための行動を継続的に改善していくことを、経営方針に取り入れ、企業活動に取り組んでいる。

### 工場自動化による生産性向上

2006年に建設した広畑第二工場では、FA（工場自動化）を導入し、24時間稼働。ガス浸炭焼入れとガス軟窒化の一連の作業工程（搬送、加工、保管など）を自動搬送台車や自動倉庫、最新の生産管理システムを組み合わせることで自動化した。これにより、省人化だけでなく、同時に品質の安定化、安全性や正確性を確保し、生産現場の高度化を目指す。

### 創業からの歩み

播磨高周波工業(株)は、昭和39年創業。上記の熱処理のほかにも、「プラズマ窒化」、「調質」、「焼鈍」など様々な熱処理加工ができる。創業以来50年余り、専門メーカーとして同技術に特化し、最先端の技術力やノウハウを蓄積。それにより、高付加価値商品を安定して提供し、取引先と信頼関係を構築してきた。また、設備投資を積極的に行い、生産性の向上や対応力におけるさらなる可能性を追求している。平成22年8月には、「ISO9001（品質マネジメントシステム）」、昨年9月には、「ISO14001（環境マネジメントシステム）」を認証取得。精度の高い技術を継続・安定・向上させていくこと、製品やサービス

### 今後の展望

池田社長は、「あらゆる産業の基礎資材として、特殊鋼製品の果たすべき役割はますます重要になっていくと考えています。私たちのモノづくりは、つねに人間や社会、地球環境と共生し、ともに成長していかなければなりません。幅広い事業活動を通して、つねに企業市民としての役割を果たし、社会に信頼される企業を目指していきます。そして、いつかこれまでの経験を活かして新しい分野にも挑戦してみたいです。」とイキイキと語った。



真空熱処理炉  
現在、6基が稼働している



第二工場のガス浸炭焼入れ炉  
手前では、自動搬送台車が炉から荷受けしている

### DATA

事業内容：高周波焼入れ、ガス浸炭焼入れ、  
ガス軟窒化、プラズマ窒化、真空熱処理、  
放電加工、ワイヤーカット、  
その他一般熱処理加工

所在地：〒671-1154 姫路市広畑区吾妻町1-82  
電話：079-239-9800 FAX：079-239-9804  
URL：http://www.harima-kosyuh.co.jp  
MAIL：info@harima-kosyuh.co.jp



広畑第二工場